

産地パワーアップ事業の取組

(群馬県)

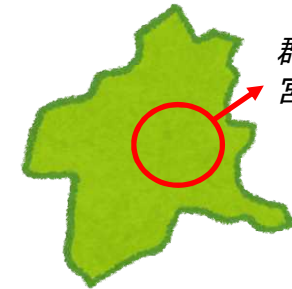
取組の概要

取組の概要 : パイプハウス整備 (生産資材の導入) による産地強化
計画作成主体 : 前橋市農業再生協議会
対象品目 : チンゲンサイ、サラダ菜 (産地面積 : 2.98ha)
主な取組主体 : 有限会社高橋農園
成果目標 : 販売額13%以上増加 (総販売額)
助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプハウス) 状況

ポイント

○チンゲンサイが前橋市で宮城地区のみ、サラダ菜が群馬県で宮城地区のみで栽培を行っているため、規模拡大によりさらなる産地強化を目指す。

地区の概要



群馬県 前橋市 宮城地区

産地の現状と目標

〈現状:H29 (2017) 年度〉

作付面積 : 2.98ha
販売額 : 168,914,170円

〈目標:R3 (2021) 年度〉

作付面積 : 4.743ha
販売額 : 192,218,510円 (13.8%増)



推進体制

地域の関係者(前橋市、前橋市農業協同組合、群馬県中部農業事務所)が一体となり、事業を推進

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○定期的な栽培技術講習会の開催
○「赤城の恵ブランド」による地産地消及び消費拡大の取組

〈県・市町村単独事業〉

○市単補助事業として、認定農業者等を対象に農業用機械などの導入を支援。県単補助事業には、市が上乗せ補助を行う。

事業効果

- パイプハウスの増設により、生産量及び販売額の増加を図る。
- 既存のハウスとともに回転数を下げて土壌消毒期間を設け土壌病害の発生率を減少させ、安定的な供給を図る。
- 新設ハウスでの従業員の雇用により、地域の雇用創出を実現する。

～チンゲンサイ及びサラダ菜の販売額～

